

# 兵庫県立あわじ特別支援学校 グランドデザイン

## 1. 育成を目指す子ども像

### 校訓 「希望」と「自立」

「希望」とは、「いつも明るく将来に対して夢と期待を持ちましょう」ということです。生きていく中で、しんどいことや辛いこと、嫌なことが必ずあります。本校では、そのしんどいことや辛いことを経験したとき、友だちや教員等の助けを借りたり、自身の成長により乗り越えたりできるようになるために、将来に対して前向きな気持ちを育みます。

「自立」とは、「自分の力で物事を行えるようになりましょう」ということです。しかし、社会は人と人が協力し合うことで成り立っています。自分だけでできることには限界があります。そこで、自分ができることを把握し、できないことは他者に働きかけて目的を達成できることが必要になります。他者に働きかけ、助けを求める力も自分の力とみなし、本人が困ることなく物事を行える行動力を育みます。

## 2. 本校の特色

聴覚障害部門と知的障害部門の2種類の学校種が同一敷地内にあります。

聴覚障害部門には、幼稚部、小学部、中学部が設置されています。知的障害部門には、小学部、中学部、高等部が設置されています。

各学部では、その発達に応じた学びを展開しています。個々のニーズや発達に合わせながら、各発達段階におけるゴールを見据えた指導を行っています。

その方法として、小・中・高等部のすべてにおいて、複数の教育課程を設置し、教育活動を展開しています。さらに、それぞれの教育課程の中で、学習段階（学習内容）別のグループを編成したり、個別による学習を行う等の工夫をして取り組んでいます。また、中学部での作業学習、高等部での職業能力検定や作業学習において、個々の職業的自立に向けた取り組みを行っています。

令和5年度からは「なかよくなるう会」という生徒会行事により、学部を超えた交流の取り組みが始まりました。さらに、令和6年度からは高等部全員がクラブ活動に参加できるように、教育課程の中に組み込み、異年齢集団での学びや交流の機会を増やします。

また、島内唯一の特別支援学校として、島内の小・中・高等学校、地域の方々との交流も行っています。

このように、個々に応じた学習を進めることに加え、地域の学校や地域の方々と交流をすることで、地域に生きる自分たちを再認識し、これからも地域の中で助け合える関係を築き、「希望」と「自立」につなげていきます。